

いしかわ 県薬レポート

2009、1 No.60

編集発行

金沢市広岡町イ25-10

(石川県薬事センター内)

社団法人 石川県薬剤師会

会長 徳久 和夫

目 次

- 年頭所感
石川県薬剤師会
会長 徳久 和夫…2
- 新年挨拶
日本薬剤師会
会長 児玉 孝…3
- 丑年を迎えて
藤井 基之…4
- HEALTH PROFESSIONALとしての
薬剤師～金沢大会を終えて～
会長 徳久 和夫…5
- 第48回北陸信越薬剤師大会…6
- 特別記念講演
「聴覚障害者にやさしい医療現場」
を聞いて 中森 慶滋…9
- 第41回北陸信越薬剤師学術大会
第1会場 村田世里子…15
第2会場 北山 朱美…16
第3会場 柏原 宏暢…17
シンポジウム
後発医薬品に対する取り組み
中森 慶滋…18
- 認定薬剤師研修制度について
吉藤 茂行…21
- 奈良公園一帯が興福寺
院瀬見義弘…24





年 頭 所 感

石川県薬剤師会

会 長 徳 久 和 夫

明けまして、おめでとうございます。会員皆様にはすこやかに新年をお迎えなされたこととお慶び申し上げます。

昨年は、北京オリンピックという明るい話題もありましたが、総じて国の内外を問わず不安に満ちた一年でした。「政治的・経済的」といった範疇を超えて、いまや「人間の営み」の根源にまで迫ってきた不安は、なにひとつ解決の糸口さえ見いだすことなく本年に持ち越されてきたことを、深刻に受け止めねばなりません。

このような社会環境の急変する中ではありましたが、本会の重点事業については予定通り順調に実施推進することができたのは心強い限りです。

なかでも特筆しなければならないのは、

- ① 薬剤師認定制度認証機構CPCよりプロバイダーG08 認証取得（6月1日）
 - ・地方薬剤師会としては全国初の快挙であり、地域に密着したひとつの新しい薬剤師研修制度の誕生でした。
- ② 第48回北陸信越薬剤師大会・第41回北陸信越薬剤師学術大会開催（11月2～3日）
 - ・本会としては過去最大の、2日間で600名を超す参加をいただき、長年培ってきた組織活動がようやく開花を見せ始めたことを実感し、大いに勇気づけられました。

ひとえに会員皆様のご理解とご協力のたまものと心から敬意を表し感謝申し上げます。

さて、平成21年度に本会が推進する最重要事業として次のことが挙げられます。

1. 6年制薬学生実務実習受入体制整備（4月までに）
 - ・明年（平成22年）4月から6年制による薬学生の長期実務実習が始まります。その時までに必要な数の受入施設

（病院及び薬局）が確保されていなければなりません。

かねてより本会は独自の年次整備計画にしたがい実務実習指導薬剤師の養成と受入施設の確保に努めて参りましたが、本年4月までには一年先のスタート時に必要とされる指導薬剤師と受入薬局の確実な予定リストを作成することになっています。

後輩の教育育成に直接参加することも医療の担い手として薬剤師の大切な使命ではないでしょうか。会員皆様の確かな心づもりの自覚と、本年度中に予定される認定指導薬剤師研修会へ漏れなく参加されますことを切に望みます。

2. 改正薬事法付策（6月より）

- ・一般用医薬品の販売制度が抜本的に見直され、本年6月から施行されます。

今回の改正によって、我が国の「すべての医薬品」が、安全性をキーワードとして法的整合がなされ、しかも、薬剤師は医療用・一般用の別なくすべての医薬品について安全性確保の見地から関与することになりました。100年に一度の歴史的改正であると意義づけられる所以です。

薬局における一般用医薬品の薬学的管理について、あらたな取り組みを開始しなければなりません。

本年は、ウシ年。四つの胃袋を持ち、一日の大半を反芻に使っているとか。牛歩、結構。繰り返し繰り返し丁寧に考え、着実に前進。会員皆様のご健勝とさらなるご健闘を祈念して、新年のご挨拶といたします。

（平成21年1月元旦）



新 年 挨 拶

日本薬剤師会

会 長 児 玉 孝

明けましておめでとうございます。

会員各位におかれましては心新たに新年をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。

また、平素より日本薬剤師会の諸事業に御理解、御協力いただいておりますこと心より御礼申し上げます。

さて、昨年は薬剤師職能確立に関わる様々な出来事がありました。

平成20年度調剤報酬改定における薬剤師職能を生かした点数の設置、ジェネリックの推進に伴う処方せん記載方法の再変更、管理者問題等改正薬事法最終的取りまとめ、それに伴うパブリックコメント、それから派生した急なインターネットによる全てのOTC薬の販売要求、社会保障制度改革の一環としての安心と希望の医療確保ビジョン策定に伴う医師不足問題対策と、薬剤師、看護師等の医療職種の活用、平成18年の医療法改正の延長線としての、歴史的な医道審議会における薬剤師分科会の設置、後期高齢者医療制度発足等々重要な項目だけでもこれ程多くありました。

そして本年、平成21年に予想される主な課題としては、公益法人制度改革、レセプトオンライン請求問題、改正薬事法の全面施行、薬学教育6年制に伴う実務実習受入

体制整備の最終段階、平成22年調剤報酬改定の議論開始、さらに政治的には、衆議院選挙、藤井もとゆき薬剤師後援会活動の本格化等々であります。

その中でも特に、各都道府県薬剤師会として大きな問題は2点あり、1点は公益法人制度改革です。この制度改革を活用して、貴薬剤師会の組織、会費、定款等を根本的に見直し、将来に向って如何に貴薬剤師会内のすべての職域の薬剤師が加入できる組織に脱却することができるか正念場と思います。

もう1点は改正薬事法の施行です。いよいよ6月から全面施行されます。平成18年から薬局が医療提供施設になったことと併せ、ご自分の薬局の“あり方”を見直す大きなチャンスと捉え、少なくとも要薬剤師薬である第一類医薬品、薬局製剤を含む薬局医薬品の取扱い、育成には前向きなお取り組みをお願いしたいと思います。

本年も、全会員、そして全ての薬剤師とともに、執行部一同全力を尽くす所存ですので宜しくお願いします。

おわりに当たりまして貴薬剤師会並びに会員の皆様にとって本年が良い年でありますことを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



丑年を迎えて

元参議院議員 藤 井 基 之

明けましておめでとうございます。

皆様、お元気で新年をお迎えのことと存じます。本年もよろしくご指導お願い申し上げます。

先日、私の支援者のお一人、N氏が、含蓄ある詩を教えてくださいました。原文は英語で作者不詳、少し長いので後半の一部だけを抜粋してみます。

リスクの中に自由あり (抜粋)

人生最大の危険は何のリスクも取らぬこと
 リスクを取らないのは、何もしない人、何も持たない人、何の価値もない人
 リスクを避ければ 苦しみも悲しみもないだろう
 しかし、それでは、何も学ばず、感動も変化も成長もない、愛の喜びもない
 生きていてもいえない
 確実だけに縛られりゃ奴隷と同じ、自由を奪われたことになる
 リスクを取る者こそ自由な人間

(「市民社会におけるリスクマネジメント」
 東京法令出版 上野治男著より)

日本にも似た言葉に“虎穴に入らずんば虎児を得ず”と言うことわざがあります。失敗を恐れていては何も得られない、ということですが、この詩はそれだけでなく、もう少し深い意味を持つ気がします。人間というものは、何か目標をもって、その実現に向かって努力を重ねることが大切だ。失敗することもあるかもしれない。しかし、何かに挑戦してこそ、自由な人間だということができるのだ、と。今まで特に問題もなかったのだから、何も無理に新しい

方法に変えなくてもいいじゃないか、という選択肢もあるかもしれない。でもそれでは“現状に縛られた奴隷”じゃないか、とこの詩は言っています。

少子高齢化やIT化の進展、規制緩和などにより、医療制度や薬事制度が次々に変革され、薬剤師を巡る環境は目まぐるしく変わっています。そんな中で、薬局や病院等で薬剤師として働き、あるいは薬局を営んでゆくには大変な努力が必要だと思えます。しかし、現状にしがみつき、現状を守るだけでは、新しい希望も発展も生まれません。薬剤師として、医療の中でなにか、新たにできることはないのか。オバマ氏は“Change”という言葉で次期大統領の座を得ましたが、今の薬剤師にとっては“Challenge”という言葉がふさわしいでしょう。

今年は丑年。丑とは、「紐(ひも)」の意味で、植物の種から紐のように芽が出、大きく成長に向かって動き出すことを象徴する干支だそうです。わたしの好きな言葉として、「昨日の夢は 今日希望 そして明日の現実」(ローバート・H・ゴダード)、という言葉は何度かご紹介してきましたが、薬剤師の新たな可能性を探り、職能の充実とますますの発展を目指す、そんな年に今年をしたいものです。私も目標に向かって、希望の芽をさらに成長させる年としたいと思います。

HEALTH PROFESSIONALとしての薬剤師

～金沢大会を終えて～

第48回北陸信越薬剤師大会
第41回北陸信越薬剤師学術大会
石川県薬剤師会

会 長 徳 久 和 夫

health professionalという文字に初めてお目にかかったのは、1997年（平成9年）F I Pの会議で採択された「薬剤師倫理規定」序文の中でした。直訳すれば「健康専門職」となりますが、pharmaceutical careと同じく、いまだに適切な日本語がありません。本来なら「衛生専門職」と訳すべきなのでしょうが、なんとなく、しっくりこないのです。

日本薬学会に属している衛生化学雑誌はJournal Of Health Scienceと称していますが、これが十分国際的に通用していることから、すでに薬学の世界ではhealthは「衛生」と捉えていることがわかります。しかし、このことを知っている薬剤師は多くありません。医療法や医療三師法、薬事法もすべて「公衆衛生」で統一されています。にもかかわらず、私たち薬剤師は、healthは「健康」と思いこんでいるのかもしれない。

2004年版F I Pの薬剤師倫理規定では、10年前よりも強調されており、意識の変化が伺われます。薬剤師のhealthに対する関心の度合いでも、日本は世界的に遅れをとっているのではないのでしょうか。

第48回北陸信越薬剤師大会のスローガンとして数ある候補の中から“Health Professionalとしての薬剤師”を選ばせていただいたのには、この言葉に対する私の強いこだわりがあったからです。

大会は、予想以上の盛会に終わり、石川県薬剤師会は大いに面目を施しました。healthの翻訳語の是非はともかくとして、この言葉の持つ意義にふれた薬剤師がひとりでも増えてくれれば良いかと密かに念じています。

“The pharmacist continues to be the health professional who is the expert on medicines.”

(FIP statement of professional standards : (2004))



第48回 北陸信越薬剤師大会



平成20年11月2日(日)3日(月・祝)の両日、金沢都ホテルに於いて、第48回北陸信越薬剤師大会、第41回北陸信越薬剤師学術大会が『Health Professionalとしての薬剤師』—くすりの安全・安心管理をめざして—のテーマのもとに開催されました。地元石川を始め、福井、富山、長野、新潟から約670名の参加がありました。

1日目の薬剤師大会は次のプログラムに従い行われました。

プログラム

1. 開会のことば

石川県薬剤師会副会長 能村 明文

2. 薬剤師綱領唱和

3. 大会会長挨拶

石川県薬剤師会会長 徳久 和夫

4. 来賓挨拶

石川県知事	谷本 正憲
衆議院議員	北村 茂男
金沢市長	山出 保(代読)
石川県議会議長	紐野 義昭
石川県医師会会長	小森 貴(代読)
日本薬剤師会副会長	前田 泰則
日本薬剤師連盟常任顧問	藤井 基之

5. 祝電披露

6. 大会宣言採択

石川県薬剤師会常任理事 中森 慶滋

7. 表彰式

北陸信越薬剤師会賞

受賞者	安倍 洋一 (石川県)
	小林 基江 (長野県)
	仲村スイ子 (新潟県)
	古本 義明 (石川県)
	堀 孝子 (富山県)
	渡邊 彦 (富山県)



徳久会長挨拶



谷本知事挨拶



受賞者

8. 次期開催県薬会長挨拶

福井県薬剤師会会長 廣部 満

9. 閉会のことば

石川県薬剤師会副会長 綿谷 小作

特別記念講演

演題 「聴覚障害者にやさしい医療現場」

講師 昭和大学病院

薬剤部 早瀬 久美 先生

座長 石川県薬剤師会副会長 三浦 智子



宝生流仕舞（安宅）



宝生流仕舞（枕慈童）

大会宣言

第48回北陸信越薬剤師大会は、薬剤師をとりまく環境が激変するなか開催された。

わが国が世界にほこる国民皆保険制度を堅持すると共に、更なる発展を目指し、薬剤師は医療の適正化、医療費の効率化など制度改革に真正面から取り組むことが期待されている。

薬剤師は医療の担い手の一員として他の医療職種と連携を図り、医薬品使用の安全と安心を確保するよう心がけねばならない。

また新たなる時を迎えた薬学教育では、全人的薬剤師を養成する場として我々が奮って参画することを囑望されている。

今こそ、我々は薬剤師にもたらされた恵沢を自覚し、生命の畏敬に発する「薬」の倫理に則り、真に Health Professional として、薬剤師職能の確立に邁進するものである。

上宣言する。

平成20年11月2日

第48回北陸信越薬剤師大会

懇 親 会

祝舞 重要無形文化財総合指定者

「枕慈童」・「安宅」

渡邊容之助
松田 若子
渡邊 茂人
酒井 章

1. 挨拶

石川県薬剤師会会長 徳久 和夫

2. 来賓挨拶

衆議院議員 馳 浩
参議院議員 岡田 直樹
石川県健康福祉部長 森 久規
石川県議会議員 米澤 賢司

3. 乾杯

北陸大学学長 大屋敷孝雄

4. 万歳三唱

石川県薬事振興会会長 安藤 謙治



会長挨拶



乾杯



万歳三唱



特別記念講演

「聴覚障害者にやさしい医療現場」を聞いて

講師 昭和大学病院薬剤部 早瀬 久美 先生

石川県薬剤師会 中 森 慶 滋

早瀬久美先生の講演が実現する。講演が始まる前、福井県会長の廣部先生が「これで講演を録音するんや」といい僕にコンパクトなメモリー録音機を見せてくれた。そして会員皆で見たいので講演の記録をDVDに焼いて福井県薬剤師会に是非とも送って欲しいと言われた。早瀬先生のリハーサルに立ち会ったという実行委員のメンバーがやってきた。「久美さんはとても現代的なお嬢さんよ。」と誰かが言っている。5分前になった。気がつくとき若い女性が舞台の袖に立っていてしきりに手を動かしている。それを通訳者が訳している。早瀬先生だ。ついに実現したのだ。

座長の三浦智子先生が座長席に座る。三浦先生が早瀬先生を紹介する。早瀬先生は1975年先天性の聴覚障害を持って大分県に生まれた。その後、筑波大学附属ろう学校



特別講演会場

幼稚園を経て、千葉県内の一般の小・中・高校、1998年明治薬科大学薬学部を卒業された。卒業と同時に薬剤師国家試験に合格したが、「耳の聞こえない者には免許を与えない」という薬剤師法の欠格条項により免許申請を却下され薬剤師免許は交付されなかった。しかし早瀬先生はそれにも関わらず、全国の障害者団体などの協力で欠格条項撤廃運動を行い、220万人以上の署名



早瀬久美氏

を集めた。2001年7月に、法改正が行われ、ろう者として日本で初めて薬剤師免許を交付された。この出来事は熱いメッセージとなり多くの人々の共感を得た。現在は、昭和大学病院薬剤部に勤務し、2007年3月3日からスタートした聴覚障害者外来を担当されている。時折手話を交えて早瀬先生を見ながら紹介している。暖かな雰囲気を作り出して実に素晴らしい座長の紹介である。壇上には手話通訳者が三浦先生の話を手話に置き換えて通訳している。日本薬剤師会を通じて打診してもらっていた時「返事がまだ来ないの、早瀬先生来てくれるかしら」と心配そうに何度も尋ねられた。その都度「返事が遅れているのは検討している証拠ではないですか。ダメならばすぐに行けないと言うでしょう」と言っていた。そしてある日早瀬先生に決まったことを記したメールが僕に届いた。

早瀬先生が壇上に上がった。手話で話しているのを手話通訳者が豊かな日本語で通訳している。彼女の姿を彼女の親が見たらさぞかし喜ぶだろうな、などと思い感涙に咽んだ。壇上の座長席に座っている三浦先生を見る。三浦先生は多くの仲間である薬剤師達に語りかけている早瀬先生の講演を暖かく見つめていた。

人は与えられたものは当たり前だと思ってしまう。身体でも、健康でも、知性でも、お金でも、地位でも。しかしそれを当たり前と思わない謙虚な心が「感謝する」

ということなのかもしれない。もっと美しい身体を、もっと健康をもっと知性を、もっとお金を、もっと地位を。と思えば思うほど苦しみに入ってしまう。それが四苦八苦にある八つの苦しみの中の一つ、求不得苦（ぐふとくく）[欲しいものが得られない苦しみ]なのだろう。一步下がってめぐみを自覚する、これは大会宣言にも書いた「恵沢を自覚」（僕が「恵沢を確保」としたところを徳久先生は「自覚」と直された）ということなのだ。

早瀬先生の講演を聞いた。耳が聞こえないという障害をもつ彼女であるのだが、そのための苦勞も多いという。しかしろう者をヒトの尊厳において区別するべきではないと思った。障害を補うだけの豊饒な文化をろう者は持っているのだ。早瀬先生の話を知っているうちに、ろうという障害を一つの個性として我々はろう者と接すれば良いのではないと考えるようになった。手話で話をして彼女の講演の様子は僕の心の中にしっかりと刻まれた。それは、これからどんなことがあっても乗り越えていく勇気を与えてくれるだろう。

大会も終わり一週間ほどしたころ、僕がデジカメで記録した早瀬先生の講演の内容の映像を見てみた。三浦先生が早瀬先生の紹介をしている内容を手話通訳者が舞台上上がり見事な手話を豊かな表情で通訳している。紹介が終わると早瀬先生が舞台に登壇する。PCを簡単にさわりチェックして

いる。そしてライトが当たるよう決められた立ち位置に移動する。髪を両手でかきあげる、観客席を見る。いい笑顔だ。そして早瀬先生は手話で話し始めた。「皆さんこんにちは。今日はこのような多くの人たちの前で講演できることを嬉しく思います。いま私はとても緊張していますが、皆さんには手話でお話したいと思います。」“こんにちは”“人”そして“手話”を意味するホントウの手話をみて「あっ、この手話知っている」と思う。それを当日見た時僕はすごく感動していた。心のそこからこみ上げるものを感じていた。これはおそらく企画の段階で「来てくれるかわからないが、そうなればいいね。」と言っていた事が実現し、そして初めて見る手話の流れるような美しさと早瀬先生の表情の豊かさに感動していたのだと思っていた。

デジカメで記録した動画をもう一度見る。同じような感動が再び僕を襲う。「あれ、おかしいなと思う」何でまた感動するのだ、二度目に見るならば客観的にそれを映像として見ればいいのだ。三度目、そしてもう一回見てみるが何度見ても最初の部分で感性を揺さぶられることに気がつく。

世の中には数限りの無い音楽が存在する。その中で不思議と飽きない曲は多く存在する。Elton JohnのYour song、Boz ScaggsのWe are all alone、BeatlesならばJohn LennonがボーカルをとるAcross the Universe、日本では鬼束ちひろの流星群、などなど。これらはいつ聞いても二

回続けて聞いても心に残る。それが果たして何なのかは良く分からないがそこに真実の何かがあるのだろう。

早瀬先生が髪をかきあげ顔をあげ客席を見たその瞬間、実に良い表情をしていた。そしてこの舞台上上がった喜びを全身で表していた。客席にいるすべての薬剤師が暖かく見守っている波動とぴったりと同調していた。それは何にも替えがたい美しい一瞬であった。

オバマ氏の勝利宣言の中にアン・ニクソン・クーパーさんと言う人が出てくる。クーパーさんは二つの理由でこれまで投票することができなかった。一つは女性であるということ、そしてもう一つは黒人であるということ。今106歳であるクーパーさんは、さまざまな出来事を目にしてきた。

アメリカの大草原に絶望が吹き荒れ、大恐慌が国を覆ったとき、クーパーさんは「新しい契約（ニュー・ディール）」と新しい仕事、そして新しく共有する目的意識によって、国全体が恐怖そのものを克服する様を目撃した。アメリカの湾に爆弾が落下し、独裁が世界を支配しようとしたとき国民が立ち上がり、偉業を達成し、そして民主主義を救うのをクーパーさんは見ていた。人が月面に着陸し、ベルリンでは壁が崩壊した。そしてわれわれの科学と想像力によって世界はつながった。そして今回の選挙で彼女は指でスクリーンに触れ投票した。幸せな時代も暗い時代も、このアメリ

力で106年生きてきたクーパーさんは知っている、このアメリカと言う国がどれほど変わる国なのかを。そしてオバマ氏はYes We Canと言った。

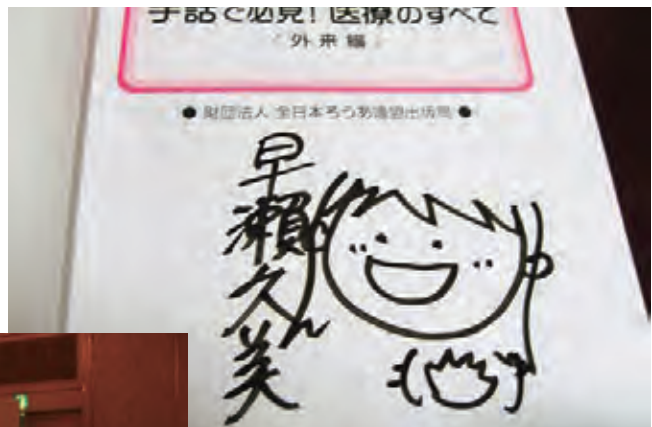
分業が本格的に始まってまだ10年足らずである。それまでの諸先輩方の多くの苦勞をまず我々は感謝しなければならない。今後薬剤師はどうなるのであろうか。分業先進国であり参照薬価制度を導入し後発医薬品が50%を超えているドイツでさえ、医療費の逼迫に薬剤師不要論がささやかれていると言う。我々は医療職種と連携して安心と安全を薬物療法において確立できるのであろうか。薬剤師教育を我々は担えるのであろうか。さまざまな課題が我々の前に存



特別講演会場

在している。

しかし我々薬剤師はどんな壁にぶち当たったとしても、それを乗り越えていくことが出来ることを僕は知っている。その象徴が早瀬久美先生なのだ。そして我々も言おうではないか。Yes We Canと。



早瀬久美氏のサイン



早瀬さんとツーショット



第41回 北陸信越薬剤師学術大会



平成20年11月3日(月・祝)、金沢都ホテルに於いて、第41回北陸信越薬剤師学術大会が開催された。地元石川を始め、福井、富山、長野、新潟から口頭発表34題、ポスター発表23題があった。今回新しい試みとして開催されたシンポジウムでは、テーマを「後発医薬品に対する取り組み」として各県から一名ずつの発表が行われた。

シンポジウム (石川県関係者)

座長 中森 慶滋 竹森 幸弘
・後発医薬品使用推進事業の結果と考察

中村 正人

口頭発表 (石川県関係者)

第1会場

座長 宮河 哲夫 金田 孝子 大成 建二 村井 裕大
・金沢市薬剤師会の「日曜祝日基幹薬局」の取り組み 村田世里子
・地域連携・チーム医療への取り組み 杉田 尚寛
・地域薬局での食事指導 佐倉 礼子

第2会場

座長 中川 輝昭 池田智恵子 森 正昭 川崎屋秀敏
・モデル・コアカリキュラムに沿った4週間実務実習
トライアルと改善点の検討 宮東 剛文
・後発医薬品変更調剤に対する薬局の取り組み 渡辺 誠治

第3会場

座長 手取屋瑞子 池田登喜雄 柏原 宏暢 村本 隆
・水質試験におけるpH測定 石浦祐喜子
・学校薬剤師の薬物乱用防止活動 長谷川雪代
・石川県薬剤師会検査センターにおける後発医薬品の溶出試験 泉 総英
・O-157等から乳幼児を守る新たなシステム作り 吉田 正暢
・石川県における有害大気汚染物質濃度について 橋場 久雄

ポスター発表 (石川県関係者)

・学校におけるアレルギーの原因となるダニアレルゲン検査について 村田世里子
・後発医薬品への変更の取り組み 萩原 敬子
・褥瘡治療に薬剤師が関与した一例 西村 宇平
・医薬品の適正使用に関する調査 斉藤 和幸
・年代別によるお薬手帳普及状況から見てきたもの 栄田 佳子
・「調剤サービス」におけるISO9001:2000認証取得の取組み 安田 幸子

第48回 北陸信越薬剤師大会 第41回 北陸信越薬剤師学術大会

役員名簿

◎大会役員

大会会長	石川県薬剤師会会長	徳久和夫
大会副会長	福井県薬剤師会会長	廣部満
	長野県薬剤師会会長	大塚宰
	富山県薬剤師会会長	沖本洋明
	新潟県薬剤師会会長	長澤敬一

◎大会実行委員会

委員長	徳久和夫				
副委員長	能村明文	三浦智子	向孝次	吉藤茂行	綿谷小作
実行委員	荒木万留美	池田智恵子	池田登喜雄	池田正行	石浦祐喜子
	泉総英	院瀬見義弘	上田和雄	大成建二	岡本嘉津子
	桶作哲平	乙田雅章	柏原宏暢	金子賢一郎	金田孝子
	兼田春生	狩谷健太郎	河崎屋秀敏	川尻義典	岸原聡
	北嶋浩成	北山朱美	木戸千加	草野節子	甲野充子
	小坂美樹子	琴坂幸広	坂元倫子	酒屋利信	佐倉礼子
	笹原紀代美	佐藤智美	沢辺和美	新藤正人	新矢和子
	杉田尚寛	杉本雅規	鈴木健太郎	台蔵剛士	高井裕美子
	高多健一	高島幸三	竹本等	竹森幸弘	玉川恵子
	手取屋瑞子	東田晃	直田弥丈	南賀文隆	中川輝昭
	中川巻子	中野由美子	中村幸次	中村正人	中村安博
	中森慶滋	西尾浩次	西島宗和	西村忠雄	丹羽靖子
	橋本昌子	長谷川雪代	久次孝幸	平場芙美代	広田春水
	藤井ひとみ	藤田隆	船崎外茂子	本郷康子	牧委豆美
	松浦清	松栄聡史	松川泉	松田泰美	三森正敏
	三村明	宮河哲夫	宮本謙一	村井裕大	村上成子
	村上美恵子	村田世里子	村本隆	森正昭	安田和弘
	安田圭子	谷内洋子	山岸真央	山崎敏誉	山崎典子
	山本満	吉田誠	吉野博之	米田光紀	渡辺誠治
	綿谷敏彦				(五十音順)

□ 頭 発 表

第41回北信越薬剤師学術大会

第1会場

金沢市薬剤師会 村 田 世里子

今年の石川県の大会は、金沢駅周辺の整備も進み、駅の象徴の鼓門が完成してから始めての大会となりました。そのせいもあるのか今回は大会参加者が過去最高ということで、会場の設営・人員には役員も何度も打ち合わせを行い当日に臨みました。

第1会場は、薬局経営、チーム医療、安全管理、患者対応、服薬指導、セルフメディケーション、OTC薬などの発表が主な演題です。高齢社会を向かえ、高齢者のニーズや状態の変化に応じた在宅訪問の事例報告と服薬管理での薬剤師の役割、また、特に安全管理が必要な薬剤への対応、少子化に伴う子育て支援の一環として健康・医療相談への対応、地域性を考慮し他の分野の医療従事者とのチーム連携など、それぞれの専門性を生かした様々な対応が求められていることの発表が行われました。

今回のメインテーマである「Health Professionalとしての薬剤師」に相応しいものばかりでした。

ここで私が注目したのは、時代の変化とともに薬局の形態も変化してきた昨今、本来の薬局薬剤師の原点である、一般用医薬品販売・食生活を含めた生活指導全般など地域に根ざした医療の提供から、さらには医薬・薬業連携を通して、お客様のニーズと融合させ、いかに症状を緩和させることができるかが求められていることです。そしてそこには医薬品という「モノ」の物品販売だけではなく、「モノ+情報+信頼」が一体となって提供されるべきでありま



学術大会・口頭発表

す。こうした面からも薬剤師に求められる専門性は、お客様の症状や訴えを詳細に把握したうえで、的確に判断する技能と態度を兼ね備えた資質が求められているのだと理解しました。

医薬分業の進展や在宅医療分野の拡大によって、薬剤師業務の幅が大きく広がっています。また言い換えれば、今薬剤師の活躍できる確かな土壌がいくつも存在しているということです。

この大会は、若い方たちの参加が目立ちました。希望あふれる職業に就き、未来は輝いています。そのときの情勢の変化、社会の変化を察知して、一対一・人と人との対応であることを忘れず、向上心を常に備え、医療人としてふさわしいコミュニケーション能力を身につける努力を続け、健康の視点で地域づくり、まちづくりに貢献していかなければならないと思います。

最後にこころよく座長を引き受けていただいた先生方、流暢な司会進行でスムーズに無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

□ 頭 表

第41回北陸信越薬剤師学術大会に参加して

第2会場

メディ菊川薬局 北山 朱美

天候不良にもかかわらず、当日は沢山の参加者が熱心に会員の発表に聞き入り、盛んに質疑応答がなされた。

第2会場では、平成22年度から始まる11週間の実務実習に向けての取り組みや、トライアルに関する発表が5演題あり、実務実習に対する意識の高さがうかがえた。続いて、石川県薬でも取り組まれている使用済み注射針回収に関する近隣の取り組みや、最近問題になっている後発医薬品変更調剤における先発医薬品への再シフト事例への検討が、2演題（石川・新潟）出された。後発医薬品に対しての十分な情報収集に基づく適切な薬剤選択に加え、個々の患者背景を踏まえた薬剤選択の必要性、並びに適切な情報提供の必要性について再認識させられた。また、保険薬局における安全管理体制の整備や、がん化学療法における患者の安全確保と業務の効率化を図るシステムの構築、副作用救済給付事業活用に関する検討など、今学術大会のテーマである「医薬品使用の安全・安心管理」の提唱が様々な視点からなされた。

12演題中、約半数（石川・長野・新潟・福井）を占めていた薬学教育に関する発表は、大変興味深いものであった。目前に迫った11週間の実務実習を見据えた実務実習の在り方を、病院や薬局における既存の2週間実務実習、4週間実務実習におい

て、すでにモデル・コアカリキュラムに準じたカリキュラムのトライアルがなされている点に驚かされると共に共感を覚えた。当薬局においても、従来の2週間実務実習、4週間実務実習のスケジュールを組むに当たってモデル・コアカリキュラムのLSをピックアップした形で実践してきた経緯がある。しかし、1薬局では教えきれないLSについては、グループ薬局に依頼したこともあった。

今回の演題の中で紹介された実務実習指導薬剤師のいる「協力薬局」「基幹薬局」を募り、薬剤師会会員が協力し合い、お互いの薬局の過不足を補い合いながら、県薬単位、支部単位で組織的に実務実習の実現に取り組んでいる各県の姿勢は、学ぶものが多く、当県における様々な取り組みにも相通ずるものがあると感じた。私達が先人から教えを請うたように、これからの後進を導いていくことは当然の責務であると思われまます。まずは、急務である認定実務実習指導薬剤師養成講習会、ワークショップへの参加から始めてみては如何でしょうか。目前に迫った、実務実習の姿が明らかになり、問題解決の糸口が見えてくると強く感じつつ、今北信越学術大会に参加したことで多くの問題点を共有できた収穫があったことを今回の報告とさせていただきます。

□ 頭 発 表

第41回北陸信越薬剤師学術大会

第3会場

石川県健康福祉部薬事衛生課 柏原宏暢

第3会場では、学校薬剤師による発表が4題、県の衛生研究所からの発表が3題、メーカーからの発表が2題、そのほか薬剤師会、調剤薬局、保健所から各1題の発表があったので、その概要を報告する。

学校薬剤師の発表では、プール水や飲料水等のpH測定についてガラス電極法と比色法の比較、くすり教育等についてのマニュアルの作成や一定の実績を積んだ薬剤師の認定、薬物乱用防止キャラバンカーを活用した小学生や市民に対する啓発活動、高校生の生活リズムに関するアンケート結果等が報告された。

県の衛生研究所の発表では、下水流入水中のウイルス検索と地域住民のウイルス感染状況との相関関係、牛乳中のピレスロイド系農薬等についてPCB分析法を適用させた分析方法、有害大気汚染物質（金属類）濃度について局所的な発生源及び黄砂の影響等について報告された。

メーカーからの発表では、パップ剤の皮膚接着性について製剤の伸縮性が皮膚接着性と極めて相関が高いこと、トラネキサム酸製剤の肝斑（しみ）に対する臨床試験の結果が報告された。

薬剤師会の発表では、ロキソニンの後発品の溶出試験結果が報告された。

調剤薬局の発表では、新潟市周辺地域を

3つに分け、インフルエンザ患者の動向を調査し、予防の啓発に役立てる報告がされた。

保健所の発表では、O-157等による食中毒から乳幼児を守るためのさまざまな活動が報告された。

いずれの発表者も日常業務から生じた疑問点を調査研究に結びつけたものであり、参加者には共感する部分が多く、会場から活発な質問や意見が相次いでいた。

北陸信越地区の薬剤師がさまざまな分野において専門性を発揮して活躍し、地域の保健、医療、福祉の向上に貢献していることが確認された。

今後は、それぞれの分野での発表を充実させて分科会を増やしていく方向での発展を望みたい。



学術大会・質疑

シンポジウム

後発医薬品に対する取り組み

金沢都ホテル鳳凰の間

石川県薬剤師会 中 森 慶 滋

これまで北陸信越薬剤師学術大会では口頭発表のみが行われ、シンポジウムは開催したことが無かった。今回新しい試みとしてシンポジウムを開催することになった。テーマを「後発医薬品に対する取り組み」として各県から一名ずつ発表が行われた。

①長野県 めぐみ薬局 田中敏夫

「中高薬剤師会におけるジェネリック医薬品の取り組み」

中野市ではジェネリック医薬品の使用を促すため、患者が医師に提示する「ジェネリック医薬品希望カード」を配布した。

②新潟県 オリーブ調剤薬局 國井絵里

「ジェネリック医薬品における新潟市薬剤師会会員の意識調査」

ジェネリック医薬品に対しての現状、考え、希望するもの、期待するものについて意識調査を行った。その結果、薬局では価格よりも品質面や安全性、情報提供を優先している結果が得られた。ジェネリック医薬品の品質や情報提供については、不安や不満が多いことが分かった。

③富山県 富山市薬剤師会医薬分業・

在宅対策委員会 林三千彦

「後発品調剤に対する富山市薬剤師会の取り組み」

会員薬局に後発医薬品調剤に対してアンケートを行いどのようなサポートができるか検証した。アンケートの結果を踏まえ富山県薬剤師会のホームページに掲示板を設置し在庫や後発医薬品情報の情報交換を促すことにした。また後発



シンポジスト



シンポジウム会場

医薬品使用に伴う副作用・トラブル当の情報を収集しフィードバックを行った。

④福井県

福井県薬剤師会 学術情報委員会
後発医薬品検討部会 東 香織

「後発医薬品検討部会の取り組みについて」

福井県薬剤師会では後発医薬品の使用に関し薬剤師業務を支援する目的で後発医薬品検討部会を発足させた。「後発医薬品取り扱いに関するガイドライン」を配布すると共に「後発医薬品に関する情報収集報告書」を作成し情報の収集に努めた。また当部会主催のセミナーを開催し情報のフィードバックを行うと共に対処について、共通な認識が得られるようディスカッションを行った。

⑤石川県 石川県薬剤師会

常任理事 中村正人

「後発医薬品使用推進事業の結果と考察」

石川県の委託を受け「後発医薬品使用推進事業」を発足させた。これは後発医薬品に関する情報収集や使用促進に係る整備体制を構築するものである。

シンポジウムは予定通り開催した。座長は私と竹森幸弘先生が務めた。上記の五題の発表の後総合討論となった。シンポジストの発表の時からなんだか辛辣な質問をするなど思っていた人がいた。日本の後発医薬品の第一人者である政田幹夫先生である。その先生とともに後半のシンポジウムは構成されていった。座長の私としては願ったりの成り行きである。

臨床試験における血液動態は後発と先発を比較した場合、そのデータは人によって先発医薬品よりも後発医薬品の方が吸収が良い場合があることを示す。これは薬を実際に飲みくらべてみないと、効果は人によって違うことを意味している。政田先生やシンポジストの発言から、後発医薬品への変更は現在飲んでいる薬で調子がよければ無理に変える必要がないのではないかとするものや費用対効果が大きい医薬品の場合、処方の中で重点を置かれていないと思われる先発医薬品は患者の希望により変更すればよい。また、継続して服用している薬ではなく、初めて処方された医薬品であればそれを後発医薬品に変更し、それを基準として薬物療法を評価してはどうかという意見も支持された。

このようなシンポジウムには先発医薬品メーカー、後発医薬品メーカー、病院薬剤師、薬局薬剤師、医師、患者など立場の違う人たちが構成するのも有意義な結論を引き出すことができるのではという意見もあった。変更が不適切であるとする医薬品にはどのようなものがあるかとの質問に以下の特性を示す医薬品があげられた。不適切な医薬品とは、変更することで薬物動態に同等の効果が期待できかねるものである。

- ① 安全域の狭い医薬品
- ② 毒薬または劇薬に指定されている医薬品

品

- ③ 化学療法に試用される腫瘍用医薬品
- ④ 先発品と異なる重篤な有害事象が学会等で報告されている医薬品

- ①ガスター ②ロキソニン
- ③メバロチン ④レニベース
- ⑤ベイスン ⑥セルベックス
- ⑦メチコパール ⑧ミオナール
- ⑨パナルジン ⑩アルファロール

またその種類としてMerck Manualより私書き写したものを読み上げた。

- ① 中毒量と有効量の差がわずかな薬
- ② 経口投与用の抗喘息薬
- ③ エアロゾル製剤 抗喘息薬
- ④ ステロイド外用剤
- ⑤ ステロイド錠剤
- ⑥ ホルモン製剤
- ⑦ 抗うつ薬
- ⑧ カリウム

また後発医薬品選択の基準として、実績として多く変更されている医薬品ほど安全性が高いのではと判断できる。多く変更されている医薬品を多い順番にあげた。

最後に座長のまとめとして、後発医薬品と先発の価格差の無い医薬品（中には逆転するものもある）を引き合いにしてその存在価値は何かと言うことを問いかけた。そこに、同一成分ながら我々薬局薬剤師の判断で医薬品を決定できると言う代替調剤の権利が存在することに気がつく。この我々に与えられた裁量を真摯に受け止めそれに取り組んでいくことで我々の職域の拡大はかれるのではないだろうかと締めくくった。



学術大会・ポスター発表

石川県薬剤師会 認定薬剤師研修制度について

石川県薬剤師研修センター

センター長 吉 藤 茂 行

薬剤師が研修会に参加して認定薬剤師申請用の研修シールを入手し、「研修手帳」にそのシールを貼って研修を記録する。薬剤師が生涯を通して継続した研修を行うことは薬剤師の付加価値を高め、患者様はもとより広く国民の信頼を得ることにつながる。「認定薬剤師」制度は、生涯学習の実績を評価するものであり、既に多くの薬剤師が資格を取得されている。

薬剤師の資質向上を目的とした研修会や学術大会等を主催でき、独自の研修シールが発行でき、認定薬剤師の認定ができる機関は、薬剤師認定制度認証機構（CPC）の審査を経て認証を受けた機関である。このような機関を認定プロバイダーというが、その第1号は(財)日本薬剤師研修セン

■認定プロバイダー（平成21年1月現在）

G01	(財)日本薬剤師研修センター
G02	東邦大学薬学部
G03	薬剤師あゆみの会
G04	慶応大学薬学部 (共立薬科大学より継承)
G05	イオン・ウエルシア・ストアーズ 人材総合研修機構
G06	明治薬科大学
G07	神戸薬科大学
G08	(社)石川県薬剤師会
G09	新潟薬科大学
P01	東京大学NPO 医薬品ライフタイムマネジメントセンター

ター（G01）で、現在10機関がある。

昨年6月18日、石川県薬剤師会がCPCの認証（G08）を受けたことは、画期的な出来事であった。それは都道府県薬剤師会では初の認証であり、支部を含めて石川県薬剤師会がこれまで行ってきた研修事業と、会員資格の有無や職域職種に限らず、広く門戸を開いて薬剤師の資質向上に努めてきたことが評価されたのである。平成14年度からスタートした3ヶ年研修プログラム「薬局薬剤師リフレッシュ講座」や、それに続く「薬局薬剤師グレードアップ講座」をはじめ、本会が県下の薬剤師に学びやすい環境を提供し、生涯学習への意欲を高めたことで、石川県が認定薬剤師比率（認定薬剤師数／医療従事薬剤師数）にお



いて全国第1位になった。このことがCPC認証の大きな説得力になったものと思っている。この比率は、昨年12月末でも、石川県は31.9%（全国平均15.6%、日本薬剤師研修センターHP発表）で、第1位を維持している。

さて、CPC認定薬剤師は、認定プロバイダー（認証番号にGxxが付された機関）に関係なく1つの資格である。どのプロバイダーも同じ認定基準で認定しており、その基準は、研修手帳に貼付された研修シールの単位数である。「新規認定では4年以内に40単位以上、更新認定では、次回更新日までの3年間で30単位以上取得する」は、すべてのプロバイダーで同じである。また、本会G08を含めてどのプロバイダーも単位互換制を実施しており、他プロバイダー発行の研修シールは、取得単位数等に多少の制限はあるが、すべて有効である。

むろん、認定薬剤師資格の同等性は、研修シールの単位数よりも、シールの内容で

論じることが本質的であろう。本会G08認定薬剤師研修制度の研修シールを利用できる研修会等は、公的機関や学術団体が主催するものに限られ、例えばメーカー単独の研修会等は認めていない。その上、研修内容についても事前に提出された計画書によって審査している。昨秋開催された北陸信越薬剤師大会・学術大会をはじめ、本会や支部が行った研修会等に多くのシールを発行したが、厚生労働省補助事業「認定実務実習指導薬剤師養成ビデオ研修」や、法で定める「高度管理医療機器継続研修」（日薬主催）、あるいは県下の薬剤師団体、石川県庁や金沢大学関係の研修会等にも本会のシールが利用された。

さらに、研修シールの信頼性を確保するために、研修会ごとに固有の番号を印字して識別している。シール識別番号の付与は、多くのプロバイダーで採用されている方式である。

一方、研修会の受講者には、講師評価を含めた「研修会アンケート」の実施や、「研修成果報告書」の提出を、主催者を通してお願いしている。本会主催の「薬局薬剤師スキルアップ講座」や「薬剤師薬局実務研修講座」では、アンケートは完全実施、成果報告書も毎回多くの受講生から提出されており、研修会のレベルアップに寄与している。

高度な研修カリキュラムをともなった専門薬剤師制度など職能レベルの設定は数段階あるが、プロフェッショナルスタンダードとしての認定薬剤師制度は、薬剤師の最



も基本的な資格制度である。一人でも多くの薬剤師が認定薬剤師になられることを願っている。

石川県薬剤師研修センターは、昨年8月にG08認定薬剤師研修制度を運営する事業部門として設置され、本会理事等から役員が配置された。制度の実施は、大学教員など外部委員を含めた「認定薬剤師研修制度委員会」が当たっている。薬剤師の生涯学習を支援することが本センターの第一の役割であり、よりよい研修プログラムを提供してゆきたい。今後ともみなさまのご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。

認定薬剤師について不明な点がございましたら、本センターへお問い合わせください。また、石川県薬剤師会のホームページをご覧ください。

石川県薬剤師研修センター

〒920-0032 金沢市広岡町25-10
 (社)石川県薬剤師会内
 Tel.076-231-6634 Fax.076-223-1520
 E-mail : kensyu_isiyaku@plaza-woo.jp

認定薬剤師になるには

①「薬剤師研修手帳」を入手する

石川県薬剤師研修センターで販売しています。
 (定価 500円)



② 研修会に参加し、「研修シール」を受領する

認定対象の研修会を受講すると、研修時間に見合った単位数の研修シールが付与されます。



③ 研修手帳にシールを貼り、研修内容を記録する

研修シールを受領したら、すぐに研修手帳の所定欄に貼り、研修内容を記録してください。



④「認定薬剤師」の申請(新規)を行う

申請に必要な単位数を獲得したら、申請手続きを行ないます。新規認定に必要な単位数は、4年以内に40単位以上です。他機関のシール(単位)が含まれていても大丈夫です。同時に、認定申請料(10,000円)を納入します。



⑤「研修認定薬剤師証」を受ける

制度委員会は、申請書や研修手帳等で審査し、資格を認定すれば、「認定薬剤師証」を交付します。また、希望者に、本人顔写真入りのIDカード(有料)を作成します。



⑥ 次回更新に向け、研修を継続する

次回更新日は、3年後です。認定薬剤師証に更新日が記載されています。

認定に必要な単位数

認定に必要な単位数		単位数の制限		他プロバイダーの研修シール
新規申請	更新申請	研修形態		
4年以内に40単位以上取得すること	3年間で30単位以上取得すること	集合研修	制限なし	すべて有効
		実習研修	合計で15単位以内	
		グループ研修		
		自己研修		

1) 年間5単位以上は維持してください。

2) 新規認定の場合、40単位に達したら、年度途中でも申請ができます。

【古寺との結縁】その7

奈良公園一帯が興福寺

院瀬見 義 弘

お寺といえば、山門をくぐると寺域で周りが塀や柵などで囲まれているのが通常の形式だ。奈良興福寺は囲いも柵もないばかりか、これほど出入り口が多い寺も珍しい。ざっと思い当たる通路でも8カ所はあり、どこからでも境内に入ることができる。近鉄奈良駅を出て東向通り商店街から奈良公園や春日大社への通り道としてこの境内を抜けていく人でいつもにぎわっている。

現在の境内でも、約4km²と広いが、江戸時代までは約50km²だったとは驚きだ。とてつもない広い敷地は、現在の奈良公園一帯はもとより周辺すべてが境内だったという。それが明治時代の廃仏毀釈のため十分の一以下に減った。起源は大化の改新で有名な藤原鎌足の念持仏を祀った山階寺として建立されたのち、710年の平城京遷都にともない、鎌足の子藤原不比等が今の地に寺地を移して、寺名も興福寺に改めた。1180年平氏による南都焼き打ちで堂塔はほぼ全焼したが、翌年から復興事業に着手。この時に造られた仏像が多く伝わることで、鎌倉時代の仏像の宝庫といわれている。東金堂の建物とともに仏像など国宝が25以上もある。

興福寺五重塔は50mと京都東寺の57mに



中金堂(1996)年 (今はない)

次いで日本で二番目に高い。現在の塔は1426年に建立された六代目で国宝。塔のすぐ横に東金堂(国宝)がある。何度も火災で焼失したのち、1415年に再建されたもので、寄棟造りの屋根と横一列の太い柱は見事に創建された天平時代の面影を今に伝えている。興福寺は記録にあるだけでも100回を超えるほど火災の多かった寺であるが、その都度復興している。東金堂内には重文の薬師如来、日光・月光菩薩のほか、その周りには国宝の維摩居士像、文殊菩薩像、十二神将像、四天王像などがぎっしりと並んでいて圧倒される。また平常は見られないが、これらの仏像の後ろの板沿いには俳優石坂浩二らの絵画が奉納されている。

仏像の多くは何ととっても、国宝館である。国宝や重文を収蔵するため昭和34年に



じきどう
食堂跡に建設されたコンクリート造りの博物館だ。特に有名で人気の阿修羅像は153cmの像高でガラスケースに入って展示されている。少年のように澄んだ瞳と眉間を寄せて悩んでいるような姿はりりしく美しい逸品である。多くの人がこの前でくぎづけになっているのを見かける。よく見ると、指の先など欠けて芯木が出ているほど傷みのひどい箇所もあるが、こんなところも何も気にせずに見惚れるほどに素晴らしい。

てんとうき りゅうとう きりゅうぞう
そして天燈鬼、竜燈鬼立像は像高77cm余と小さめということもあって、そのユーモラスさには思わず笑みがこみあげてくる傑作国宝である。国宝館内で最も大きな521cmの千手観音、昭和12年の東金堂解体修理の際に現本尊薬師如来坐像の台座の中から約500年ぶりに発見された旧山田寺の仏頭など、大小さまざまの仏像、仏画、経典など見切れないくらいの宝物が厳粛な雰囲気の中で陳列されている。



左・竜燈鬼 右・天燈鬼

五重塔の南側に南円堂がある。興福寺＝南円堂といえる西国三十三所第九番札所として参拝者と線香の煙が絶えることない。南円堂の西に隠れるように三重塔（国宝）があるのに、意外と気付く人は少ない。秋に南円堂の裏手に回って五重塔を望むとまっ黄色の銀杏の木が映える光景に出会うことができる。

南円堂北側に塀で囲まれひっそりと建っている北円堂は南円堂と同じ八角堂で、ここには無著・世親菩薩像（4～5世紀インドで有名だった法相宗を確立した兄弟の僧）が安置されているが、南円堂の木造不空鞞索観音（342cm）とともに、春秋の特別開扉の日にのみ見られる国宝である。南円堂と北円堂の間に西金堂が1717年頃まであって、三棟の金堂が存在していたが、西金堂だけは何も残っていない。

北円堂の東側に仮金堂がある。講堂跡に建立されたもので、本尊の釈迦如来立像と



平成7年興福寺友の会会員証 院瀬見義弘 殿
平成20年興福寺友の会会員証 院瀬見義弘 殿

ともに薬王菩薩と薬上菩薩が安置されている。「薬」の字のつくのは薬師如来しかないと考えていたが、ここで初めてこんな名称の菩薩さまのあることを知って、より一層の親しみを持って拝顔し、忘れるくらい長い時間を過ごした特別公開時を思い出す。中金堂前の芝生には礎石や切り株があって、そこに鹿がいる風景は一幅の心癒される絵であった。境内で鹿と戯れるのはここ興福寺と東大寺だけである。つまり奈良公園だ。年を経て雨漏りなどで傷みが激しい中金堂は再建中のため、この光景が見られないのは寂しい。しかし、興福寺創建1300年にあたる2010年に新しい中金堂が完成すると、そこにまた新たな風物詩が生まれることであろう。

1985年9月の訪寺が私の最初の記録となっているが、より深い興福寺との結縁は友の会会員になったことから始まる。きっかけは定かでないが、平成7年以降の会員

証が手元に残っている。名刺大の会員証は『国宝板彫十二神将の宮毘羅大将像』の写真である。有効期間一年で更新されるが、その年によって写真は寺所蔵の仏像に変わる。また、年末に送られてくる仏像など寺宝の写真が入った卓上カレンダーも楽しみである。この会員証の効能は、有料の国宝館や東金堂はもとより、春秋に特別開扉される南円堂、北円堂、仮金堂も同伴者2名まで無料拝観できる特典があるのはありがたい。そして年に4回、寺誌『興福』が送られてくる。

20年6月発行の『興福』140号に、ことし3月から東京国立博物館で開催される『国宝阿修羅展』についての金子啓明興福寺国宝館館長の記事があった。金子氏は昨年の『国宝薬師寺展』の開催にあたって中心的な働きをされた方である。去年8月末に薬師寺を訪れた際、山田法胤副住職からいただいた寺誌『薬師寺』第155号（20年

3月発行)に二つの驚きがあった。編集人大谷徹瑛師による裏表紙の巧みさと、もうひとつは『『国宝薬師寺展』の開催について』を金子氏が執筆されていることである。その抜粋をここで紹介したい。

「ミロのビーナスと金堂の日光、月光菩薩像を比較すれば、東西の彫刻美が対照され、日本・東洋とギリシャ・西欧の違いが分かり刺激的な展示になるのではないかなど、薬師寺の僧侶のなかに斬新な見方をされる方がいることは驚きであった。とくに、日光、月光菩薩像とギリシャ彫刻の名品の比較は私には興味深かった。人間に対する考え方と美のあり方を、大きな視点で対比することができるからだ。—中略—

4年ほど前のこと。今回の共催者となったNHK事業局の方から、当時東京国立博物館の事業部長であった私に、『薬師寺展』は可能でしょうかという質問があった。…私は、お寺が大切にされている宝物、それも礼拝の対象であるご尊像が中心となるので、大変だと思うが、展示のプランを考えることならばできると申し上げた。しかし、実現するためには、博物館としてもいろいろと考えなくてはならない。それは明確なコンセプトを作ること、単なる薬師寺名品展にはしないこと、天武、持統天皇の創建の意義を大切にすること、中心はあくまでも古代彫刻であること、現代的な意義を考えること、などである。

NHKは、私に展覧会の企画書を共同で作成することを依頼された。そして、薬師寺に同行してほしいとの要請であった。私

は困難を承知の上で、薬師寺に向こう見ずな訪問をすることにしたのである。—中略—

しかし、展覧会実現のためには、薬師寺内での大英断が不可欠である。こうしたあつかましい判断をお寺にお願いするのは、本来、失礼なことである。寺内に波紋を呼び起こすであろうことは間違いない。私には責任がある。しかし、私にあるのは薬師寺のご尊像への敬愛の念と、展覧会で薬師寺のすばらしさを多くの方々に知っていただきたいという強い思いだけである。あとは何もない。

実際に薬師寺内では、相当の議論があったとうかがっている。その上で『国宝薬師寺展』の開催に同意されたのである。私は心からその英断に感謝したい。そのことを議論していただいた薬師寺の皆様には敬意を表したい。

私の金堂の日光・月光菩薩像や東院堂の聖観音菩薩像に対する思いには強いものがある。彫刻の美は人の心を救済する。今回の『国宝薬師寺展』を通じて多くの方々が宝物の美を体験し、心を癒し、力を得て、それが平和を大切にする意識へと繋がってほしい。そう願わずにはいられない。—後略—

4,500字ほどの文のごく一部であるが、金子館長の彫刻史から仏像美への熱い思いと展覧会の開催が決まった充実感が満ちあふれている。そして東博での一展覧会における入場者数の最多新記録が樹立されたのである。再び薬師寺展の話に及んで恐縮であるが、両寺ともに法相宗^{ほっそうじゅう}大本山という共

通点に免じてご容赦願いたい。

2006年10月に東京国立博物館で特別展『仏像 一木にこめられた祈り』が開催された。この期間中の「連続講座木彫」に大変な魅力を感じ、馬鹿なヤツだと思われるでしょうが、受講のためにのみ三日間東博へ通ったのである。このとき無職の身の有り難味を実感した。その第5講金子啓明副館長（当時）の「^{なたぼり}鉦彫と一木彫像」で、初めて氏を知ったと同時にその内容が印象に残った。なかでも鉦彫の傑作「^{ほうし おしよりゅう}宝誌和尚立

^{ぞう}像」に強いインパクトを受けたからである。展示されていたこの像をじっくりと拝観したのはもとよりだが、お寺で祀られている現場でお会いしたい気持ちが強くて、京都の西往寺をようやく探し当てて去年1月に訪ねてみたのだが…。これはまた別の機会にと思う。

興福寺国宝特別公開2008は5年ぶりの五重塔初層と南円堂公開を11月の紅葉目当てに計画を練っていたのに、よんどころない理由で断念に至る。ウーム残念！無念！



寺誌「薬師寺」第155号の表紙と裏表紙(右)

原稿を募集しています。

- ◇「県薬レポート」では、この小冊子をより一層愛されるものになりたいと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。
- ◇テーマや内容、体裁は自由です。評論、随筆、意見、提言、店頭体験談、趣味の話、詩、短歌、俳句、川柳、或はマンガ、イラスト、カット、写真等々何んでも結構です。ただしあまり長いものは御遠慮の程を……。
- ◇用紙や宛先等は下記のとおりです。
用紙：400字詰原稿用紙又はハガキ
切：特に設けていませんいつでもどうぞ
宛先：金沢市広岡町イ25-10
社団法人石川県薬剤師会内

その他：採否は編集係におまかせ下さい。なお、いただいた原稿はお返しできませんのでご了承下さい。

「県薬レポート」編集係

編集員：池田智恵子、坂元 倫子、茶谷美年子、
中森 慶滋、三浦 智子、森 正昭
石川県薬剤師会ホームページのアドレス
<http://www2.icnet.or.jp/~isiyaku/>
会員専用パスワード
ID: ipa01 password: 1111 (いずれも半角入力)
eメール・アドレス
isiyaku@plaza-woo.jp